

詰将棋作品集①

まえがき

早いもので、初入選からあつという間に10年が経とうとしています。
今回、これまでに発表した作品などから25作を選んで簡単なミニ作品集を作ってみました。既発表作の改良案アリ、インターネット発表作アリといった一風変わった内容になっております。

当初は短中編25作のみという形でまとめるつもりでした。しかし、それだけでは少し寂しいかと思い、番外という形で煙詰を3作収録することに決めました。
なおスペースの都合上、変化手順・紛れ等の記述を一切省略しています。ご容赦ください。

次回は「詰将棋作品集②」。そしてその次は「詰将棋作品集③」…という具合に続けてゆければと願っています。そしてやはり最後には百局集めて作品集を。
寡作かつ駄作ばかりの私には長い道のりですが、今後も楽しみながら続けていきたいと思えます。

これまでに出会った全ての皆様に感謝します。今後もたくさんの方々と出会えますように。

平成23年7月

やっくん

第一番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						馬			一 持駒
				香					二 駒
			銀				香		三 銀
	マ					王	香		四 銀
							飛		五 駒
								角	六 角
									七 角
									八 角
	角								九 角

第二番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一 持駒
						王			二 香
									三 香
		飛							四 香
				王		馬			五 香
	金		香			銀			六 香
					歩				七 香
									八 香
		角							九 香

第三番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							龍	皇	一 持駒
					香		銀		二 駒
				香			王		三 駒
							皇	香	四 飛角金
									五 飛角金
								香	六 飛角金
									七 飛角金
									八 飛角金
									九 飛角金

第四番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一 持駒
									二 なし
									三 なし
									四 なし
					馬	馬			五 なし
							飛	金	六 なし
						歩			七 なし
								桂	八 なし
					金	桂		マ	九 なし

第五番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
		馬							四
			香		香				五
			王						六
									七
									八
		銀	香		香				九

持駒
金
金
金
桂

第六番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				香	香		銀		一
					歩				二
						王			三
			龍						四
				香	角	歩			五
									六
									七
									八
									九

持駒
角

第七番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
					龍				三
						香			四
						王		香	五
								銀	六
									七
				桂	香	歩		香	八
						香			九

持駒
角
金
金
銀

第八番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		香		香					一
							王		二
									三
									四
				飛					五
							桂		六
									七
									八
									九

持駒
角
金
桂

第二十五番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					王				一
						馬			二 持駒
				龍			龍	龍	三 桂
				馬		馬			四
									五
									六
									七
									八
									九

番外一

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王	馬	馬		と	馬		龍		一
	歩	と	馬		龍	銀		と	二 持駒
	馬	皇	と	香	歩	桂			三 桂
桂			歩	歩	と	桂	歩		四
と	馬	歩			皇	歩			五
		と	香		と				六
	角	と	馬	銀	と				七
									八
馬								飛	九

番外二

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								皇	一
				馬	銀	馬	と		二 持駒
			と	と					三 桂
と		桂	香	歩		馬		桂	四 桂
馬		香	歩	王	歩	歩	歩	馬	五 桂
	龍	と				香	馬	馬	六
		銀	馬	馬	馬		馬	銀	七
龍		銀		と		と		桂	八
						馬		香	九

番外三

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	皇	馬		馬	と			銀	一
王	馬	と	馬	角			馬	馬	二 持駒
		歩	桂				馬	香	三 桂
歩	馬	と		と		馬		馬	四
	歩	飛		歩	と		銀		五
	銀				皇	銀			六
				馬	皇	馬	桂		七
			馬	金		金			八
	皇				馬				九

第一番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						馬			一
				歩					二 持駒
			銀			香			三 銀
	王				王	歩			四
						飛			五
								角	六
									七
									八
	角								九

▲ 5六飛 △ 4五玉 ▲ 5四銀 △ 同歩 ▲ 1六飛 まで5手詰

詰将棋パラダイス 04年 07月号に入選した作品を創りなおしたもの。

5三歩は作意を成立させるとともに、変化を割り切る重要な役目を担っています。
余詰防ぎの8五とは残念。

(未発表)

第二番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
					王				二 持駒
									三 香
		飛							四
				王		馬			五
	金		香			銀			六
					歩				七
									八
		角							九

▲ 5九香 △ 5八馬 ▲ 7六飛 △ 4五玉 ▲ 3六銀 △ 同馬
▲ 7五飛 迄7手詰

2種のスイッチバック（7五飛→7六飛→7五飛と3六馬→5八馬→3六馬）
が狙いです。4三王の配置は、5四・4四・3四に利く駒が必要だったためにや
むなく置いたもの。このような王の使い方はあまり好まれないようなので、駒数
を1枚増やしてでも王は置かないほうがよかったのかもしれない。

(詰将棋パラダイス 05-12)

第三番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							龍	皇	一
					馬		銀		二
			馬				王		三
						皇	馬		四
									五
							香		六
									七
									八
									九

- ▲ 4三飛 △同金寄 ▲ 1三金 △同香 ▲ 3三銀生 △同玉
- ▲ 1一角 迄7手詰

豪快な▲ 4三飛捨てが主眼。3三合には同銀不成があるため合駒は利きません。なお、初手より▲ 1三金△同香▲ 4三飛と追うと△ 1四玉以下逃げ出されてしまいます。

(詰将棋パラダイス 04-04)

第四番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
					馬	馬			五
						飛		金	六
					歩				七
							桂	王	八
					金	桂		マ	九

- ▲ 2六飛 △ 3六飛 ▲ 1七金 △同玉 ▲ 1六飛 △同飛
- ▲ 2七馬 まで7手詰

インターネット上の作品展に投稿したもの。

テーマは「桂による開き王手を防ぐための合駒」。2手目△ 2九玉は▲ 3六桂以下簡単に詰んでしまうため、3六の地点への合駒が最善の抵抗となります。

仕組みがわかればあとは合駒の選択。3六に合駒をした局面では1七金～1六飛という手段が見えているため、それを防ぐ飛合が正解となります。

なお余談ですが、私は合駒の意味付けが作意手順に現れるような創り方が好みで、本ミニ作品集に収録した作品もほとんどがそのような創り方になっています。

(インターネット上での発表)

第五番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
		馬							四
			香	玉					五
			王						六
									七
		銀	香						八
			香						九

- ▲ 7六金 △同銀 ▲ 6七金 △同馬 ▲ 5八桂 △5五玉
- ▲ 5四金 △同玉 ▲ 6六桂 迄9手詰

定番の収束からの逆算。4筋の香を働かせるために、3手目6七金で馬を移動させてから5八桂を打ちます。

(詰将棋パラダイス 05-05)

第六番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				香	玉		銀		一
					歩				二
						王			三
			龍						四
				玉	角	歩			五
									六
									七
									八
									九

- ▲ 1一角 △4二玉 ▲ 3三角成 △同玉 ▲ 4四龍 △2二玉
- ▲ 1三角成 △同玉 ▲ 2四龍 迄9手詰

テーマは「贅沢な邪魔駒消去」。初手▲4四龍は△2二玉▲1三角成に△2一玉で詰みません。ここで4二歩が4一龍を防いでいてむしろ邪魔であることに気がつけば解けたも同然。作意手順はおのずから明らかになります。

角を使って味方の歩を消去する。この非効率さは詰将棋ならではの醍醐味です。

(将棋世界 11-03)

第七番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二 持駒
									三
					龍				四 角
						マ			五 金
						王		料	六 金
								銀	七 銀
				桂	驥	歩		マ	八
						マ			九

- ▲2五角 △同と ▲3七金 △同竜 ▲4七金 △同竜
▲2七銀 △同龍 ▲4六龍 迄9手詰

2五を塞ぐ初手がポイント。あとはよくある手順で詰みとなります。
2五に打つ駒は銀ではなく角が正解。初手▲2五銀と打つと△2七玉以下脱出されてしまいますが、▲2五角と打てば△2七玉には▲1六角の用意があります。
(詰将棋パラダイス 04-10)

第八番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		馬		料					一
							王		二 持駒
									三
									四 角
					飛				五 金
							桂		六 桂
									七
									八
									九

- ▲1四桂打 △3二玉 ▲5二飛成 △4二桂合 ▲4一角 △3三玉
▲3四金 △同桂 ▲2三角成 △同玉 ▲2二龍 迄11手詰

インターネット上の作品展に投稿したもの。
パラッとした配置で手が付けづらい形をしています。初手は▲1四桂打が正解。
3四に打たないのは、のちに3四に駒を打つ余地を残すため。
△3二玉に▲5二飛成と進めてみると、急に玉が狭くなったように感じます。
あとは桂を動かしてよくある収束形に。
ここだけの話ですが、私は作品のネタがなくなったら、とりあえず合駒を動かすことを考えるようにしています。

(未発表)

第九番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								皇	一
							香		二
			香					科	三
					角	王			四
			角						五
						進	歩		六
									七
									八
									九

持駒 飛金銀

- ▲ 3 三角成 △ 同玉 ▲ 3 一飛 △ 2 四玉 ▲ 2 三角成 △ 同玉
- ▲ 1 四金 △ 同玉 ▲ 3 四飛成 △ 2 四合 ▲ 1 五銀 迄 11 手詰

詰パラ初入選作。コーナーは短編コンクール。

解説の市島さんより「ツボをわきまえている」とのお言葉をいただき、ニヤニヤしていたのがつい昨日のここのようです。

手順は2枚の角を捨てる易しい作品。いまとなっては、初手を見ても全く驚かないほどのマニアになってしまいましたが、当時の私にとって、この初手は夢のような手だったのです。懐かしいなあ。

(詰将棋パラダイス 01-12)

第十番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					香	角	科		一
							香		二
					龍			皇	三
					歩	香	王		四
							銀		五
							銀		六
									七
									八
									九

持駒 飛金銀桂

- ▲ 1 六桂 △ 同馬 ▲ 2 三飛 △ 同歩 ▲ 3 三銀 △ 同桂
- ▲ 3 四龍 △ 同馬 ▲ 1 四金 △ 同香 ▲ 1 三銀 迄 11 手詰

将棋世界初入選作。新人賞をいただきました。

最近では機械に検討を任せきっている私ですが、当時はもっぱら人力で検討していました。自力での検討と、将棋道場で人に出題するという形での検討。本作の検討には非常に時間が掛かったのを覚えています。

手順はオール捨て駒の手筋作。初入選からもうすぐ10年ですが、基本的な作風はさほど変わっていないように思います。

(将棋世界 01-11)

第十一番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	一	と	持駒 角金銀桂 なし
				馬		料			二	王	
									三		
				金					四	銀	
				銀			料	金	五		
									六		
									七		
									八		
									九		

- ▲ 3 二金 △ 同玉 ▲ 2 一角 △ 2 三玉 ▲ 1 二角成 △ 3 二玉
- ▲ 4 四桂 △ 同飛 ▲ 2 三銀 △ 同龍 ▲ 2 一馬 △ 同龍
- ▲ 3 三金 迄 13 手詰

角の長い足をいかした詰将棋が好きです。本作においても 1 二の馬が遠く 4 五を睨んでいるために 4 四桂以下の収束が成立しています。

最初の 6 手は平凡な手の付け方ですが、他によい案が浮かびませんでした。

なお 4 手目 △ 2 二玉は ▲ 3 四桂以下早詰です。

(将棋世界 08-09)

第十二番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	一		持駒 なし
				角					二	王	
				飛	王		王		三		
									四		
									五	銀	
									六		
									七		
									八		
									九		

- ▲ 4 一王 △ 4 二歩合 ▲ 同飛成 △ 1 三玉 ▲ 1 四歩 △ 同玉
- ▲ 4 四龍 △ 1 三玉 ▲ 1 四龍 △ 2 二玉 ▲ 3 三角成 △ 同玉
- ▲ 2 四龍 △ 4 三玉 ▲ 4 四龍 迄 15 手詰

王と玉との接近戦。初手 ▲ 4 三王は △ 4 二歩合以下詰みません。初手は ▲ 4 一玉が正しく、これならば後に ▲ 4 四龍と活用することができます。最後は角を捨てて軽い収束。4 三で詰むとは意外です。

双玉詰将棋はまだ面白い作品が眠っていそうです。

なお 8 手目 △ 2 五玉は ▲ 1 5 角成以下早詰。

(詰将棋パラダイス 05-04)

第十三番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								料	一
								銀	二
					銀	王			三
					マ		変	変	四
						桂		歩	五
									六
									七
									八
									九

持駒
角角桂

- ▲ 2 三銀成 △ 同金 ▲ 4 二角 △ 2 二玉 ▲ 2 三桂成 △ 同玉
 - ▲ 3 二角 △ 1 二玉 ▲ 2 四桂 △ 同金 ▲ 2 一角成 △ 同玉
 - ▲ 3 一角成 △ 同玉 ▲ 3 二金 迄 15 手詰
- (将棋世界 10-06)

2 枚の角打ち～角捨てがテーマ。手順は駒取りもあり冴えませんが、初手が入ってどうか作品になったでしょうか。

12 手目△ 2 三玉は▲ 3 三角成以下同手数駒余りとなります。

第十四番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				歩				皇	一
					歩	王	歩		二
									三
					留	金	歩		四
					角		香		五
									六
									七
									八
									九

持駒
飛飛桂桂

- ▲ 2 三歩成 △ 同歩 ▲ 2 四桂 △ 同歩 ▲ 2 二飛 △ 同玉
- ▲ 2 三金 △ 2 一玉 ▲ 1 三桂 △ 同香 ▲ 1 一飛 △ 同馬
- ▲ 5 四角 △ 3 一玉 ▲ 3 二金 迄 15 手詰

桂打ちからの飛車捨てを2回繰り返すことが狙い。

3 手目▲ 2 二飛は△ 同馬▲ 5 四角△ 3 一玉で▲ 2 三桂が打てずに慌てることになります。というわけで、3 手目の▲ 2 四桂は▲ 2 三桂を打つための伏線手。この手が入って作品に厚みができました。

「この詰将棋がすごい！ 2010 年度版」で取り上げていただきました。

(将棋世界 08-02)

第十五番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二 持駒
									三 飛金
								王	四
						歩	馬	角	五
									六
							銀		七
									八
									九

- ▲ 1一飛 △ 1三桂合 ▲ 2四金 △ 1五玉 ▲ 1三飛成 △ 1四桂合
- ▲ 2五金 △ 同玉 ▲ 2三龍 △ 2四桂合 ▲ 4三角 △ 1五玉
- ▲ 1六角成 △ 同桂 ▲ 2六銀 △ 同桂 ▲ 2七桂 迄 17手詰

2009年7月号に将棋世界に入選した作品の改作。

原図と比べるとこちらはとても易しい仕上がりになっています。しかし桂合を更に1回増やすことに成功。個人的にはとても気に入っている改作案です。

逆算で合駒を発生させるのは慣れないうちは難しい技術ですが、桂合や角合は比較的発生させやすいように思います。

(未発表)

第十六番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						金			一
				角			王		二 持駒
							歩	車	三
			角					馬	四 金銀桂
									五
									六
									七
									八
									九

- ▲ 2一金 △ 同玉 ▲ 4三角成 △ 3二金合 ▲ 3三桂 △ 1一玉
- ▲ 2二銀 △ 同玉 ▲ 3一角成 △ 同金 ▲ 2一桂成 △ 同金
- ▲ 3三金 △ 1二玉 ▲ 2一馬 △ 同玉 ▲ 2二金打 迄 17手詰

実戦で生じた詰み筋からヒントを得て創った作品。

2手目△3三玉の変化が厄介ですが、▲4五桂と打って、以下△2四玉は▲4六角以下。△4四玉は▲5五銀△3五玉▲4六銀△2六玉▲3七銀！以下捕まっています。

4手目の金合がわかればあとは2枚の角を捌いて収束。最終手余詰がありますが、これはどうしようもありませんでした。

(将棋世界 11-07)

第十七番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				飛			王		一
					王				二 持駒
									三
			王				王		四 飛銀
							金	歩	五 桂
									六 桂
									七 歩
									八
									九

- ▲ 2 三歩 △ 同玉 ▲ 3 五桂 △ 同銀 ▲ 3 四銀 △ 3 二玉
- ▲ 4 四桂 △ 同銀 ▲ 2 三銀不成 △ 同玉 ▲ 2 一飛成 △ 2 二桂合
- ▲ 1 三飛 △ 同玉 ▲ 1 四金 △ 同桂 ▲ 2 五桂 迄 17 手詰

将棋世界で2度目の初入選を飾った作品。初入選から期間が空いていたことと、住所が変わっていたことが原因だったようです。

2枚馬による守備力はかなりのものですが、2枚の桂捨てで巧みに局面を変化させてゆきます。3手目の▲3五桂は▲3四銀を打つ準備。▲4四桂は▲2一飛成を成立させるための準備です。

▲2一飛成以降は合駒を動かして収束。他の作品を見比べてみると、いつも同じようなことをやっていることがわかります。

(将棋世界 08-04)

第十八番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
					王			王	二 持駒
									三
					金		金		四 角
									五 角
									六 桂
									七 桂
									八
									九

- ▲ 3 四角 △ 1 一玉 ▲ 2 三桂 △ 2 一玉 ▲ 3 三桂 △ 同金
- ▲ 1 一桂成 △ 同玉 ▲ 2 二角 △ 2 一玉 ▲ 1 二角成 △ 同玉
- ▲ 1 三角成 △ 1 一玉 ▲ 2 二馬 △ 同玉 ▲ 3 三金左 △ 1 一玉
- ▲ 2 二金打 迄 19 手詰

名刺に刷りたくなるような初形に、やはり刷れないと思いとどまる変化群。初手▲3四角は限定打です。▲3三金左のために2枚の角を捨てる手順が面白いかと思います。

当時は形から手順を探る創作法も多用していました。しかしながら最近ではほとんどやっています。

(詰将棋パラダイス 03-08)

第十九番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					銀		王		一 持駒
					銀				二 角
					銀				三 角
									四 角
									五 歩
					香				六
									七
									八
									九

- ▲ 3 三銀引不成 △ 1 二玉 ▲ 4 五角 △ 1 三玉 ▲ 2 四角 △ 1 四玉
 ▲ 3 六角 △ 2 五飛合 ▲ 1 五歩 △ 2 三玉 ▲ 3 二銀左不成 △ 1 二玉
 ▲ 4 五角 △ 同飛 ▲ 2 二銀成 △ 同玉 ▲ 3 三角成 △ 1 二玉
 ▲ 2 三銀成 △ 2 一玉 ▲ 2 二成銀 迄 21 手詰

第十八番が金ならば、第十九番は銀です。

手順は前作より劣ります。限定合だけが取り柄。

(詰将棋パラダイス 04-11)

第二十番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						香	王	銀	一 持駒
							王		二 角
						飛			三 香
									四
					香	銀		銀	五
									六
									七
									八
									九

- ▲ 2 九香 △ 2 五角合 ▲ 同香 △ 2 四角合 ▲ 同香 △ 1 三玉
 ▲ 2 三香成 △ 同歩 ▲ 3 一角 △ 同金 ▲ 1 四銀 △ 2 二玉
 ▲ 1 三角 △ 同飛 ▲ 同銀成 △ 同玉 ▲ 1 四飛打 △ 2 二玉
 ▲ 1 一飛成 △ 同玉 ▲ 3 一飛成 △ 1 二玉 ▲ 2 二金 △ 1 三玉
 ▲ 1 一龍 迄 19 手詰

合駒作品ばかり創っていたころの作品。

九州には合駒が得意な方々が多く、良い刺激をたくさんいただいています。九州 G で「合駒 3 回」というような課題を出すと皆さん大喜びですが、一方で「合駒なし」なんて課題を出そうものなら欠席者が出そうです。

冗談はさておき、本作は角の連続合がテーマです。合駒は、前に利く駒は絶対にダメ。桂合もダメ。というわけで合駒選びは全く難しくありません。

後半のまとめはあっさりと。実は、連続合が発生する配置を作って試しに詰ませてみたところ、この手順で詰んでいたのです。いつもこうだと良いのですが。

(詰将棋パラダイス 03-10)

第二十一番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				香	香	香	香		二 持駒
									三 駒
						王		馬	四 飛
				銀			香		五
					銀				六
									七
									八
									九

- ▲6 四飛 △5 四香合 ▲同飛 △4 三玉 ▲4 五香 △4 四角合
- ▲同香 △3 三玉 ▲1 五角合 △2 四香合 ▲同角 △2 三玉
- ▲3 三角成 △同玉 ▲3 五香 △3 四角合 ▲同香 △同玉
- ▲4 三香成 △同玉 ▲3 四角 △3 三玉 ▲4 四銀 △3 四玉
- ▲5 三銀生 △4 三玉 ▲4 四銀成 迄 27 手詰

詰将棋パラダイス 03 年 1 月号に発表した作品の改作。原図は香合、角合が登場する 25 手詰でしたが、改作により香合角合を 2 回繰り返すことに成功しました。

狭いところでは角という駒は妙に使いづらい。そんなことを感じる作品です。

(未発表)

第二十二番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							馬	王	一
									二 持駒
					桂	金			三 駒
									四 歩
							馬	桂	五 7
					角				六
									七
									八
									九

- ▲1 二歩 △同金 ▲2 三桂不成 △同金 ▲1 二歩 △2 一玉
- ▲2 二歩 △同金 ▲3 一桂成 △同玉 ▲6 四角 △2 一玉
- ▲2 二金 △同玉 ▲2 三歩 △3 二玉 ▲3 三歩 △同玉
- ▲3 四金 △3 二玉 ▲3 三歩 △2 一玉 ▲2 二歩成 △同玉
- ▲3 二歩成 △同玉 ▲1 四馬 △2 一玉 ▲2 二歩 △1 二玉
- ▲2 三金 △1 一玉 ▲2 一歩成 △同玉 ▲3 一角成 △同玉
- ▲3 二金 迄 37 手詰

ミニ煙。次の 2 点の理由から、歩をひたすら打ち捨てる軽いタッチの中編としてまとめました。

1 点目は逆算が難しそうなこと。どこかから 2 五に馬が来るような展開にしたいのですが、簡単ではありません。

2 点目は、最後 1 一玉と逃げると詰め上がり 3 枚にならないこと。たとえ全駒にすることが出来たとしても、この点で評価を落としてしまいそうです。

(詰将棋パラダイス 08-03)

第二十三番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
				香					二 持駒
									三
					龍			歩	四 香
					香		香		五 香
									六
					料				七
									八
									九

- ▲2四香 △2三香合 ▲同香不成 △1一玉 ▲2二香成 △同玉
- ▲2四香 △2三香合 ▲1三步成 △同玉 ▲1九香 △1四金合
- ▲同香 △同玉 ▲1九香 △1五角合 ▲1三金 △同玉
- ▲1五香 △1四金合 ▲同香 △同玉 ▲2三香成 △1五玉
- ▲3七角 △1六玉 ▲1四龍 △2七玉 ▲1七龍 △同玉
- ▲2八金 △1六玉 ▲1九香 迄33手詰

2手目△2三香合と中合するのがよくある延命手段。2手目△2二香合の誤解者が続出したのには驚きました。

4五歩と4七歩は収束のための駒。龍捨てが入ったのでまずまずといったところでしょうか。

第二十四番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					香	香		香	一
					皇	皇		香	二 持駒
						香		王	三
					龍				四 桂
					馬				五 歩
							香		六
									七
									八
									九

- ▲2五桂 △2二玉 ▲3三龍 △2一玉 ▲1三桂不成 △同歩
- ▲1二銀 △同銀 ▲同馬 △同玉 ▲2三銀 △2一玉
- ▲3二銀不成 △同銀 ▲2五香 △2三角合 ▲同香不成 △同銀
- ▲同龍 △2二角合 ▲1二角 △1一玉 ▲2二龍 △同玉
- ▲2三銀 △3三玉 ▲3四銀成 △3二玉 ▲3三步 △3一玉
- ▲2二角 △同玉 ▲2三成銀 △1一玉 ▲2一角成 △同玉
- ▲3二歩成 △1一玉 ▲2二と まで39手詰

九州Gに入選した作品。課題は「3種不成」でした。

本作については、15手目▲2五香以下の素材を持っていて、それを3種不成が達成できるよう逆算したという事情があります。不成で跳ねる桂馬を打つところまで逆算したところ、手数が長くなってしまいました。反省。

手順は2度の角合～角2枚を捨てての清涼詰。解後感は悪くないのではないかと思います。

第二十五番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					王				一
						馬			二 持駒
				龍			馬	龍	三
				馬		馬			四 桂
									五
									六
									七
									八
									九

- ▲ 1一龍 △ 3一香合 ▲ 3三桂 △ 同金 ▲ 3一龍 △ 同玉
- ▲ 3三龍 △ 3二角合 ▲ 4二金 △ 2一玉 ▲ 3二金 △ 同金
- ▲ 2四香 △ 2三桂合 ▲ 同香不成 △ 同銀 ▲ 同龍 △ 2二飛合
- ▲ 4三角 △ 3一玉 ▲ 3三龍 △ 3二桂合 ▲ 2三桂 △ 2一玉
- ▲ 3二角成 △ 同飛 ▲ 1二銀 △ 同玉 ▲ 3二龍 △ 2二金合
- ▲ 1四飛 △ 1三桂合 ▲ 2四桂 △ 1一玉 ▲ 1三飛車成 △ 同金
- ▲ 1二桂成 迄 41 手詰

詰将棋パラダイス 07年3月号に入選した作品の改良。

5種7回の合駒が登場します。この収束形に結び付いたことには自分自身が驚いてしまいました。

改良案が見つかることは決して悪いことではないのですが、推敲の大切さを痛感する今日この頃です。

(未発表)

番外一

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王	馬	馬		と	馬		馬		一
	歩	と	馬		馬	銀		と	二 持駒
	馬	馬	と	香	歩	桂			三
桂			歩	歩	と	桂	歩		四 なし
と	馬	歩			馬	歩			五
		と	香		と				六
	角	と	馬	銀	と				七
									八
馬								飛	九

- ▲ 8一步成△同と▲同と△同玉▲ 7二角△ 9一玉▲ 9二歩△同玉
- ▲ 8三角成△同玉▲ 7三と△同金▲ 8四香△同成銀▲同と△同玉
- ▲ 8五と△同玉▲ 9五金△同玉▲ 9九飛△ 8四玉▲ 8五金△同玉
- ▲ 7六角△ 7五玉▲ 9五飛△ 7四玉▲ 7五銀△ 8三玉▲ 6五角△ 9三玉
- ▲ 8二桂成△同玉▲ 9二飛成△ 7一玉▲ 6一と△同玉▲ 5二香成△同成桂
- ▲ 同龍△同玉▲ 6三歩成△同玉▲ 8三角成△ 6六金▲ 5三歩成△同銀
- ▲ 同と△同玉▲ 6四銀打△同金▲ 同銀△同玉▲ 5五と△同玉
- ▲ 6六と△ 4四玉▲ 5五と△ 3五玉▲ 4五と△ 2四玉▲ 3五と△同玉
- ▲ 3六金△ 2四玉▲ 2五香△ 1五玉▲ 2六金打△ 1四玉▲ 1三と△同玉
- ▲ 2三香成△同飛▲ 同銀成△同玉▲ 2二飛△ 3四玉▲ 4六桂△ 4四玉
- ▲ 4五金△同玉▲ 7二馬△ 4四玉▲ 3五金△同玉▲ 3六と△ 4四玉
- ▲ 4五馬△ 4三玉▲ 5四馬△ 3三玉▲ 3二馬△ 4四玉▲ 4五と△同玉
- ▲ 2五飛成△ 4四玉▲ 5五龍△同玉▲ 5四馬 迄 101 手詰

初めて作った煙詰です。

現在の目で見ると、銀桂の成駒は配置しなくても作れたような気がしてなりません。しかし、▲2二飛以下の収束手順には良い意味で力が入っており、よく創れたなと思う点もあります。

個人的な見解ですが、都煙詰は通常の煙詰より創りやすいのではないかとラクなのではないかと思うことがあります。理由は簡単で、詰上がり局面において、攻方の駒が通常の煙詰よりも1枚多く存在するからです。本作においても、5七銀が絶大な存在感を誇っています。

(近代将棋 06-07)

番外二

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								馬	一
				香	銀	桂	と		二 持駒
			と	と					三 なし
と		桂	香	歩		香		桂	四
香		香	歩	王	歩	歩	歩	香	五
	龍	と				香	香	香	六
		銀	香	香		香	香	銀	七
龍		銀		と		と		桂	八
						馬		香	九

- ▲6六と△4五玉▲5五と△同玉▲5六龍△同玉▲6七銀△4五玉
- ▲4六金△同玉▲4七と右△4五玉▲5六銀△4四玉▲3三銀不成△同玉
- ▲3四歩△4四玉▲5五銀△同玉▲6六銀△4四玉▲4五歩△同玉
- ▲4六歩△4四玉▲5五銀△同玉▲5六と△同玉▲5七と△5五玉
- ▲5六と△同玉▲5八龍△4六玉▲5七馬△3六玉▲4七龍△2五玉
- ▲2六銀△同と▲4五龍△1四玉▲2六桂△同金▲1六香△同金

- ▲1五歩△同金▲1三馬△同玉▲1五龍△2二玉▲3三金△2一玉
- ▲2二歩△同角▲同金△同玉▲2三歩△同玉▲2四歩△同桂
- ▲1二角△3二玉▲3三歩成△同玉▲1三龍△4四玉▲2四龍△5五玉
- ▲3五龍△6六玉▲4六龍△7七玉▲5七龍△8六玉▲7八桂△7六玉
- ▲6七龍△8五玉▲9五と△同玉▲8五金△同玉▲8七龍△7五玉
- ▲8六龍△7四玉▲7三と△同玉▲6三香成△同金▲同と△同玉
- ▲8三龍△5四玉▲6六桂△6五玉▲7四龍△6六玉▲6七金△5五玉
- ▲5六金 迄 105 手詰

還元都煙詰です。何度も5五の地点を通るのが印象的かと思います。

煙詰と打歩詰絡みの攻防はどうやら相性がよいようです。番外三同様、本作にも打歩詰の局面が出現します。

1二角と据えてからの龍追い。中段を追い掛け回す展開を意外だと思っていたのであれば大成功です。

(詰将棋パラダイス 09-02)

番外三

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	皇	香		香	と			銀	一
王	香	と	香	角			香	香	二 持駒
		歩	桂				香	香	三 なし
歩	香	と		と		香		香	四
	歩	飛		歩	と		銀		五
	銀				皇	銀			六
				香	皇	香	桂		七
			香	金		金			八
	皇				馬				九

▲9 三歩成△9 一玉▲8 二と寄△同金▲同と△同香▲9 二歩△同玉
▲9 三金△同玉▲8 四と△同香▲8 三金△同玉▲8 四歩△同玉
▲8 五飛△7 三玉▲6 四と△同玉▲7 五銀△6 五玉▲4 三角成△5 六玉
▲5 七金△同玉▲6 六銀△同玉▲7 六馬引△5 六玉▲5 九香△同飛成
▲4 七金△同と▲5 七香△同玉▲8 七飛△5 六玉▲4 六と△同玉
▲4 七飛△5 六玉▲5 七香△同龍▲同飛△同玉▲5 八飛△同と
▲同馬上△5 六玉▲4 七馬△5 五玉▲6 五馬左△4 四玉▲4 五銀△3 三玉
▲2 二銀不成△同玉▲1 二香成△同玉▲2 四桂△同歩▲1 三歩△同玉
▲1 四銀△2 二玉▲2 三歩△3 三玉▲2 五桂△同歩▲3 四銀△同玉
▲2 五馬△4 四玉▲2 六馬△3 五歩合▲同馬△3 三玉▲5 五馬△3 二玉
▲5 四馬△4 一玉▲4 二歩△同玉▲5 三馬左△4 一玉▲4 二歩△3 二玉
▲3 三歩△同玉▲4 四馬引△4 二玉▲4 三歩△4 一玉▲5 一桂成△同玉
▲6 二馬△4 一玉▲4 二歩成△同玉▲5 三馬上△3 二玉▲3 三歩△同玉
▲4 四馬△2 四玉▲5 一馬△1 四玉▲1 五馬△2 三玉▲3 五桂△1 二玉
▲1 三歩△同玉▲1 四歩△1 二玉▲2 三桂成△同玉▲3 三馬左△1 二玉
▲1 三歩成△同玉▲2 四馬上△1 二玉▲2 三馬上△2 一玉▲2 二馬左

迄 127 手詰

初めて発表した狭義の煙詰。ここで、狭義の煙詰とは、「盤上に攻方の玉以外の 39 枚の駒を配置し玉を含めて 3 枚の駒で詰め上がる」を意味します。

5 九香の伏線手。1 歩を稼ぐための 2 六馬。煙詰という制約下でこのような手
が実現できたことは幸運以外の何物でもありません。不自然成駒なしの初形に仕
上がったことには満足しています。

平成 20 年度看寿賞（長編）を受賞しました。

（詰将棋パラダイス 08-04）